

第4学年「音楽科」シラバス

4年生ではこんな学習をします

学習の目標

進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにします。様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにします。

学習の方法

学習した曲を、学校や家庭他いろいろな場で、友だちと合わせて歌ったり演奏したり鑑賞したりし、目的に応じた様々な表現活動を行います。他教科とも関連をもたせ、広がりのある活動を行います。

学習の評価

音楽科では次の観点で評価します。

「音楽への関心・意欲・態度」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取

「音楽表現の創意工夫」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等取り組み状況の観察、演奏の聴取

「音楽表現の技能」
演奏の聴取、表現の技能・理解等のテスト（自己・相互評価を加味）
学習プリントなど

「鑑賞の能力」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 学習プリントなど

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前期 30時間	1 にっぽんのうたみんなのうた	情景を想像し、気持ちを込めて表現します。 歌い継がれてきた日本の歌に親しみます。
	2 ひびけ歌声	各パートの旋律の動きを捉え、響きのあるのびやかな声で歌います。 いろいろな声の響きや特徴を味わい、ミュージカルの音楽を楽しみます。
	3 ひょうしとせんりつ	拍の流れにのり、旋律のまとまりを生かして演奏します。 拍子の違いを感じ取り、拍の流れによって歌ったり聴いたりします。
	4 にっぽんのうたみんなのうた	歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲想を生かして表現します。
	5 せんりつと音色	旋律の感じに合った声や歌い方を工夫します。 旋律の流れやフレーズを意識し、それぞれの楽曲の特徴やよさを生かして表現します。
	6 アンサンブルの楽しさ	各声部の役割を生かし、聴き合いながら演奏し、アンサンブルの音楽を味わいます。
後期 30時間	7 音のスケッチ	音型を組み合わせたたり、音楽を形づくっている要素を工夫したりしながら、音楽表現をします。
	8 お祭りや民ようめくり	我が国の音楽のリズムや旋律に親しみ、自分たちの表現を工夫します。 いろいろな国の音楽に親しみ、リズムや楽器の特徴を感じ取ります。
	9 にっぽんのうたみんなのうた	歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲想を生かして表現します。 声の響き合いを感じ取って合唱します。
	10 えんそうのツボ	楽器やパートを選んで、楽曲に合った演奏を工夫します。
	11 音楽のききどころ	音楽を形づくっている要素を手がかりに、楽曲の構造をつかみ、全体を味わって聴きます。
	12 みんなの音楽パーティー	互いの声や音を聴き合い、音の重なりを楽しみ、表現の工夫をしながらアンサンブルを楽しみます。